

古典B

| | | | | | |
|-------|-------------|------|-----------------|-----------|--------|
| 単位数 | 2単位 | 対象学年 | 3学年 | 対象コース・クラス | チャレンジA |
| 使用教科書 | 新編古典（大修館書店） | 副教材等 | 古典文法ノート・古文単語337 | | |

1. 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ① 古典の表現に慣れ、音読・暗唱・書写等を通じ各作品の特色を理解し、登場人物の行動と心情を理解する。
- ② 古典に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解し、基礎を定着させる。
- ③ 各作品に表れた人間、社会、自然等に対する思想や情緒を理解し、ものの見方、感じ方、考え方などを豊かにする。

3. 学習上のメッセージ

「古文」では、我が国の古典文学作品を通して、日本の文化や表現の美しさ、豊かな表現力や生き方・考え方などを学びます。併せて、古典特有の表現を理解するために、文法的な事項や修辞法などについても本文の学習の中で学習していきます。

「漢文」では我が国の文化に深い影響を与え、つながりの深い中国の古典を学習します。本文に用いられている漢文特有の表現を理解するために、「訓読するための決まり」（訓点や書き下し文）、「句法」についても併せて学習します。

日頃から予習・復習をしっかりと行い古典の基礎力をつけましょう。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の3つの観点から行う。

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとしているか。 |
| 読む能力 | 古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしているか。 |
| 知識・理解 | 古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。 |

評価は具体的に次のものを対象とする。

- ① 年4回の定期考査及び卒業考査
 - ② 授業中の発問に対して解答を記入して提出されたプリント等
 - ③ 授業中板書を写したノートの提出
 - ④ 広島桜が丘高校の生徒として規則に則った服装での学習活動への参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

| 単元名 | 使用教科書項目 | 指導内容と評価のポイント |
|--------------------------------|--|--|
| 知恵の働き (古文) | 沙石集 ・ 児の飴食ひたること 宇治拾遺物語 ・ 十二の「子」文字 | 古文の表現に慣れ、正しく音読し、内容を的確に読み取る。古典に対する理解を深める。児から貴族まで、さまざまな階層の人々が知恵や機転を働かせて相手をやり込める面白さを読み取る。 |
| 1 学期中間試験 | | |
| 宮中の生活 (古文) 英雄の物語 (漢文) | 枕草子 ・ 中納言参りたまひて 史記 ・ 鴻門の会 | 三大随筆の一つである『枕草子』の中で、清少納言が描き出した宮中生活のさまざまな出来事について理解を深める。 漢文訓読の基本的・基礎的な文法を復習するとともに、中国の壮大な歴史物語を読み、そこに描かれた人物像を読み取る。 |
| 1 学期期末試験 | | |
| 歴史と人間 (古文) 説得の技 (漢文) | 大鏡 ・ 競べ弓 故事成語 ・ 不死之薬 ・ 先従隗始 | 歴史物語の傑作である『大鏡』を読み、歴史上の人物の心情や人間像を読み取る。 漢文における巧みに人を説得する方法を学び、表現の特徴を理解し、説得の効果を確かめる。 |
| 2 学期中間試験 | | |
| 愛の始まり (古文) 人間の本質 (漢文) | 源氏物語 ・ 若紫 性善と性悪 ・ 不忍人之心 ・ 人之性悪 | 日本古典の最高傑作である『源氏物語』について学び、後世に与えた影響について考える。 荀子と孟子の相対する考えを理解し、ものの見方や考え方を深める |
| 2 学期期末試験 | | |
| 自然と人生 (古文) 英雄の物語 (漢文) | 発句でたどる 『奥の細道』 史記 ・ 四面楚歌 | 声に出して読み、俳諧のリズムを味わう。発句に込められた作者の思いを味わい理解する。 史伝の面白さを理解し味わう。二人の英雄の争いを読み、そこに描かれた人物像を読み取る。 |
| 卒業試験 | | |